

の公約の最重要課題に掲げ、平成19年度と20年度あわせて、約25億円の借金を減らしました。今年度も約10億円の借金を返す予定です。一方で景気の後退により税収は昨年度より約8億円減ってしまいました。財政運営は非常に厳しいですが、子どもや孫にツケを回すことはできません。そのために財政再建を強く進めていく必要があります。私は、矢内さんがおっしゃったように元気な行田をつくりたい。子どもから高齢者の方まで、すべての人が明るく健康で、そして心豊かに過ごせるようなまちをつくりていきたいと思っています。人の心の痛みがわかる行政をやっていきなさいです。そのためには行政だけでなく、市民の皆さんとともに手を携えて、まちづくりをしていく必要があると思っています。

具体的には、単身高齢者の方の見守り、あるいは買い物支援とか、地域で困っている方、支援が必要な方を支えていこうという新たな仕組みづくりに取り組んでいます。この取り組みにより、行田市は国から地域福祉推進市の指定を受けました。全国で55市町村が指定され、埼玉県では行田市だけです。今年度は、忍、行田、佐間、長野地区でモデル事業として実施し、その状況を見て市内全域に広げていく予定です。

矢内さんは、行田市のまちづくりをどのようにすべきだと考えていますか。



**矢内** 行田の街並みはきれいですが、わりと歩いている人が少ないというイメージがあります。せっかくいい資源がたくさんあるのだから、それらを活用して人が集められるような何かがあるといいなと思います。

それから、休みの日には、さきたま緑道を歩いているのですが、「古代蓮の里へはどのように行ったらいいのですか」と聞かれることがあります。看板とか、行き方が分かりやすくなっているといいなと思います。「古代蓮の里入口」と書いてあっても、入口からかなり遠くて、どう説明したらいいかと困ってしまいます。これからの一層、大勢の観光客が行田市を訪れると思うので、案内の仕方もすごく大切かなと思いますね。

**市長** 市内の施設へのアクセス環境の整備はとても重要です。そういった面からも、市の長年の懸案であった南大通りが、やっと開通します。長野、太田地区方面

から行田の表玄関であるJR行田駅に一本で出られます。南大通りが開通したら、市内循環バスを行田駅発着で通そうと思っています。それから、行田駅に通勤快速とかアーバンを停めたいと考えています。

**矢内** 私が不勉強というのがありますが、いろいろな取り組みをされているのを知っていて、これからも行田市の魅力を広められるように私も頑張らなくてはと、あらためて思いました。

今までのものを維持していただくでもすごく大変なことだとは思いますが、斬新なアイデアを形にして、新しいまちづくりを進めている市の取り組みを、市民の一人として心強く思っています。これからぜひ頑張ってください。



**市長** ありがとうございます。行田市は、歴史・文化・伝統に恵まれていて、埼玉県名発祥の地といわれています。世の中の流れに乗ることも必要ですが、やはり先人が残した歴史・文化・伝統をもう一度見直して、市民の皆さんとともに個性あふれる行田らしさを生かせるまちづくりをしていきたいと考えています。これだけの広範な歴史と伝統を持ったまちは、そう多くはないと思います。私は市民の皆さんに行田の市民であることに誇りを持っていただけるようなまちづくりを、皆さんとともにしていきたいと思っています。今日は本当にありがとうございます。

**矢内** ありがとうございます。